

U.S. Indicators

発表日:2023年11月7日(火)

米国 10月ISM非製造業は低下し米景気減速示す

～新規受注、活動指数が比較的高い水準を維持しており需要の緩やかな鈍化を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年10月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、51.8(前月53.6)と前月比で1.8%ポイント低下し市場予想の53.0(筆者予想53.8)を下回り、米国の非製造業部門の拡大ペース鈍化を示した。ただし、拡大した業種数は、全18業種中12種と9月の13業種から減少したものの、多くの業種が拡大を続けていることから、ヘッドラインの数値ほど非製造業部門は減速していないとみられる。回答では、現在の安定した業況について楽観的な見方が示された一方、高インフレ、金利上昇、地政学的なリスクなどを懸念する見方など、まちまちだった。

内訳では、新規受注が上昇した一方、活動指数、雇用、入荷遅延が低下した。新規受注は、景気後退懸念や政府機関閉鎖懸念等で先送りされていた新プロジェクトが開始されるなど先行き懸念の弱まりを背景に高い水準に上昇した。また、活動指数は低下したが、事業活動の堅調さを映じて比較的高い水準を維持した。新規受注、活動指数の二つの重要な項目が高い水準を維持しており、米非製造業部門の安定持続を示している。

一方、雇用は、拡大縮小の分岐点である50付近まで低下し、雇用の増加ペース鈍化が示された。人手不足、人件費の増加が指摘されており、ミスマッチによる採用の制限のほか、人件費の上昇に伴う海外への業務移転等の影響で低下したとみられる。また、入荷遅延は景気減速、サプライチェーン問題の改善によって、拡大縮小の分岐点である50を下回り、納入の速まりを示した。

10月に拡大した業種数は、18業種中12業種と9月の13業種から減少したが、多くの業種が拡大した。拡大した業種は、強い順に芸術・娯楽・レクリエーション、小売業、その他サービス、建設業、金融・保険、公的部門、運輸・倉庫、公益、教育サービス、医療・社会支援、企業向けサービス、情報産業(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。一方、縮小した業種は、不動産・賃貸・リース業、農林水産業、鉱業、卸売業、専門・科学・技術サービスの5種(9月5業種)にとどまった。宿泊・飲食サービスは変わらずとなった。

非製造業総合指数の構成項目では、新規受注が55.5(前月51.8、前月比+3.7%ポイント)と上昇した一方、活動指数が54.1(前月58.8、前月比▲4.7%ポイント)、雇用が50.2(前月53.4、前月比▲3.2%ポイント)、入荷遅延が47.5(前月50.4、前月比▲2.9%ポイント)と低下した。

総合指数への寄与度では、新規受注が前月比+0.93%ポイントの押し上げ寄与となった一方、活動指数が前月比▲1.18%ポイント、雇用が前月比▲0.80%ポイント、入荷遅延が前月比▲0.73%ポイント、の押し下げ寄与となった。

サブ項目では、新規輸出受注が48.8(前月63.7、前月比▲14.9%ポイント)と低下し、サービス輸出の減少を示した。一方、輸入は60.0(前月50.6、前月比+9.4%ポイント)と上昇し、サービス輸入の拡大ペース加速を示した。



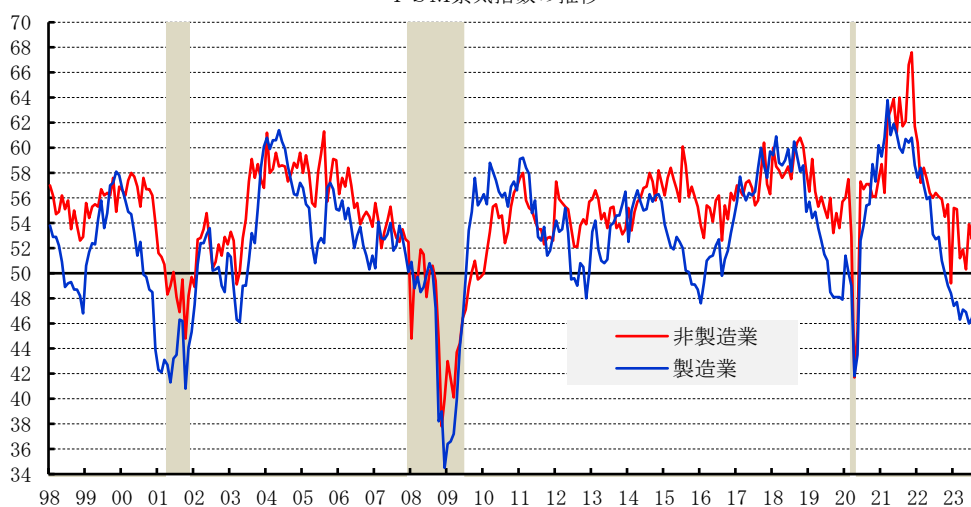
インフレ環境では、仕入価格指数が58.6（前月58.9）と小幅低下にとどまり、インフレ圧力が依然強いことを示した。労働コスト等の継続的な上昇のほか、ガソリン、ディーゼル燃料、ソフトウェアライセンス、ソフトウェアのメンテナンスやサポート等の上昇によって押し上げられ、価格指数が高止まりした。また、供給不足の分野として、変圧器、電気部品が挙げられた。

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、10月に51.3（9月53.1）と低下し、景気拡大ペースの鈍化を示した。四半期での推移をみると、製造業が10月に46.7（7-9月期47.7）と4-6月期の水準に低下したほか、非製造業が51.8（7-9月期53.6）と4-6月期の52.0程度に低下した。この結果、ISM総合景気指数は、10月に51.3（7-9月期53.0）と4-6月期の51.5程度に低下しており、10-12月期の米国需要が前期比で緩やかに減速していることを示唆している。

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
22/10	54.5	55.6	56.8	49.2	56.2	52.2	70.9	47.7	47.2
22/11	55.5	61.6	55.8	50.6	53.8	51.8	70.1	38.4	47.9
22/12	49.2	53.5	45.2	49.4	48.5	51.5	68.1	47.7	45.1
23/01	55.2	60.4	60.4	50.0	50.0	52.9	67.8	59.0	49.2
23/02	55.1	56.3	62.6	54.0	47.6	52.8	65.6	61.7	50.6
23/03	51.2	55.4	52.2	51.3	45.8	48.5	59.5	43.7	52.8
23/04	51.9	52.0	56.1	50.8	48.6	49.7	59.6	60.9	47.2
23/05	50.3	51.5	52.9	49.2	47.7	40.9	56.2	59.0	58.3
23/06	53.9	59.2	55.5	53.1	47.6	43.9	54.1	61.5	55.9
23/07	52.7	57.1	55.0	50.7	48.1	52.1	56.8	61.1	50.4
23/08	54.5	57.3	57.5	54.7	48.5	41.8	58.9	62.1	57.7
23/09	53.6	58.8	51.8	53.4	50.4	48.6	58.9	63.7	54.2
23/10	51.8	54.1	55.5	50.2	47.5	50.9	58.6	48.8	49.5

ISM景気指数の推移



（出所）ISM（注）シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。